

鈴鹿亀山地区 介護支援専門員調査 調査票

● 調査ご協力をお願い ●

日頃は、介護保険事業の運営にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。
現在、鈴鹿亀山地区広域連合では、令和6年度から実施する「第9期介護保険事業計画」の策定作業を進めております。

この調査は、介護保険事業の円滑な実施と、高齢者の保健福祉サービスを充実させるための基礎資料とさせていただきます。アンケートの集計結果などにつきましては、すべてコンピュータで統計的に処理し、みなさんにご迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見をお聞かせいただきたく存じます。

なお、この調査は鈴鹿亀山地区広域連合管内の居宅介護支援事業所及び介護予防支援事業所に所属する介護支援専門員の方を対象としております。また、この調査と並行して、居宅介護支援事業所等に対する調査も実施いたします。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月

鈴鹿亀山地区広域連合

<ご記入にあたっての注意事項>

- この調査は、介護支援専門員の方がお一人につき1部ずつ調査票を使ってお答えください。なお、調査票が不足する場合は、お手数ですが下記の問い合わせ先までご連絡ください。
- 原則として、令和4年11月1日（基準日）現在の状況について、あてはまる番号に○をつけてください。また、〔 〕内にはその内容を具体的にお書きください。できるだけ黒のボールペンか鉛筆でお願いします。答えにくい質問には答えていただかなくてもかまいません。
- 1つだけ答えていただく質問と、複数お答えいただく質問とがありますので、質問をよく読んでお答えください。また、お答えの内容によっては、次に答えていただく質問が変わるものがあります。質問の指示にしたがってください。
- 回答が終わりましたら、記入もれなどがなく確認していただき、返信用封筒に入れて、12月23日（金）までに郵便ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。
- このアンケートについてのお問い合わせは下記までお願いします。

鈴鹿亀山地区広域連合 介護保険課 管理グループ 電話 059-369-3204

所属する事業所の状況についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問1 所属する事業所の形態をお選びください。(1つを選択)

1. 単独型の居宅介護支援事業所
2. 地域包括支援センター
3. その他のサービス事業と併設

問2 所属する事業所が現在、サービスを提供している地域をお選びください。
(複数選択可)

- | | | |
|--------------|----------|----------|
| 1. 鈴鹿市・亀山市全域 | 2. 鈴鹿市全域 | 3. 亀山市全域 |
|--------------|----------|----------|
- 鈴鹿市
- | | | | | |
|-------|--------|---------|--------|---------|
| 鈴鹿第1… | 4. 加佐登 | 5. 石薬師 | 6. 久間田 | 7. 椿 |
| | 8. 深伊沢 | 9. 鈴峰 | 10. 庄内 | |
| 鈴鹿第2… | 11. 国府 | 12. 庄野 | 13. 牧田 | 14. 井田川 |
| 鈴鹿第3… | 15. 河曲 | 16. 一ノ宮 | 17. 神戸 | |
| 鈴鹿第4… | 18. 長太 | 19. 箕田 | 20. 若松 | |
| 鈴鹿第5… | 21. 玉桜 | | | |
| 鈴鹿第6… | 22. 稻生 | 23. 飯野 | | |
| 鈴鹿第7… | 24. 白子 | 25. 鼓ヶ浦 | 26. 愛宕 | 27. 旭が丘 |
| 鈴鹿第8… | 28. 栄 | 29. 郡山 | 30. 天名 | 31. 合川 |
- 亀山市
- | | | | | |
|-------|----------|-----------|--------|---------|
| 亀山第1… | 32. 井田川北 | 33. 井田川南 | 34. 川崎 | 35. 野登 |
| | 36. 東部 | 37. 南部 | 38. 昼生 | |
| 亀山第2… | 39. 白川 | 40. 神辺 | 41. 野村 | 42. 城東 |
| | 43. 城西 | 44. 城北 | 45. 御幸 | 46. 本町 |
| | 47. 北東 | 48. 天神・和賀 | 49. 関宿 | 50. 関北部 |
| | 51. 関南部 | 52. 坂下 | 53. 加太 | |

問3 所属する事業所の所在地をお選びください。
(1つを選択、区域は問2を参考にしてください)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 鈴鹿第1 | 4. 鈴鹿第4 | 7. 鈴鹿第7 | 9. 亀山第1 |
| 2. 鈴鹿第2 | 5. 鈴鹿第5 | 8. 鈴鹿第8 | 10. 亀山第2 |
| 3. 鈴鹿第3 | 6. 鈴鹿第6 | | |

問4 介護支援専門員の処遇改善について、どのようにお考えですか。(1つを選択)

- | | | |
|-----------|----------|--------------|
| 1. 不十分である | 2. 十分である | 3. どちらとも言えない |
|-----------|----------|--------------|

ケアマネジメントについてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問5 あなたの、介護支援専門員としての経験年数をお答えください。

	年
--	---

問6 ケアプランを作成する際、介護支援専門員の意見と、利用者やその家族との意見が食い違うのは、どのような内容についてですか。(複数選択可)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. サービスの種類について | 5. 事業者の選択について |
| 2. 本人の能力に関して | 6. 介護保険以外のサービスの利用について |
| 3. サービスの回数について | 7. その他〔 〕 |
| 4. 主治医の所見の扱いについて | 8. そのような事例は無い |

問7 ケアマネジメントする上で、どんなことに問題や難しさを感じますか。(複数選択可)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分に取れない |
| 2. 望ましいサービスを提案しても本人や家族の理解を得られない |
| 3. 本人の経済的理由で必要なサービスを組み入れられない |
| 4. サービス提供事業者に関する情報が少ない |
| 5. 介護保険外サービスに関する情報が少ない |
| 6. 困難事例のケアマネジメントの方法が分からない |
| 7. 認知症ケアの方法が分からない |
| 8. 認知症高齢者の一人歩き等に対する支援策が十分でない |
| 9. 一人暮らし高齢者の支援策が十分でない |
| 10. 医療機関との連携がうまくとれない |
| 11. 法令や制度改正等の内容を十分理解できない |
| 12. 作成しなければならない書類が多い |
| 13. その他〔 〕 |
| 14. 特にない |

問8 業務を進める上で、困ったときに主にどこに相談していますか。(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 地域包括支援センター | 7. 医師 |
| 2. 市役所 | 8. 県 |
| 3. 鈴鹿亀山地区広域連合 | 9. 国民健康保険団体連合会 |
| 4. 三重県介護支援専門員協会鈴亀支部 | 10. その他 |
| 5. 職場の上司・同僚 | 〔 〕 |
| 6. 職場外の介護支援専門員 | 11. 相談していない |

問9 利用者や家族からの相談や苦情についてどのように対応していますか。

(複数選択可)

1. 相談・苦情専門の担当が対応している
2. 担当が個別に対応している
3. 苦情対応マニュアルに沿って対応している
4. 利用者アンケートを実施している
5. 地域包括支援センターに相談している
6. 市役所に相談している
7. 鈴鹿亀山地区広域連合に相談している
8. 国民健康保険団体連合会に相談している
9. その他〔
10. 相談や苦情はない

問10 ケアマネジメント業務を行う上で、どのような情報の充実が必要だと思いますか。

(3つまで選択可)

1. 介護保険制度に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報
3. 地域のインフォーマルサービス情報
4. サービス提供事業所情報
5. 施設の定員の空き状況
6. ケアマネ対象の研修・講座情報
7. 地域ケア会議に関する情報
8. 多職種連携に関する情報
9. 具体的なケースケアマネジメント事例
10. その他〔
11. 特になし

問11 介護保険に関する情報をどこから入手していますか。(複数選択可)

1. 地域包括支援センター
2. 鈴鹿亀山地区広域連合
3. 市役所
4. 各種の研修会
5. 書籍
6. 厚生労働省など公的機関のホームページ
7. 民間のホームページ
8. 他の介護支援専門員
9. 同一法人内の職員
10. 多職種間の連携・地域ケア会議
11. その他〔

問 12 現在、担当している利用者は何人いますか。
 そのうち、在宅での生活の維持が困難になりつつあると思われる方は何人いますか。
 それぞれ人数をご記入ください。(数字を記入)

担当している利用者数	在宅生活の維持が困難 になりつつある人数
人	人

問 13 在宅生活の維持が難しくなる理由として、多いものは何だと思いませんか。
 (複数選択可)

1. 生活支援が発生・増大するから
2. 身体介護が増大するから
3. 認知症の症状が悪化するから
4. 医療的ケア・医療処置の必要性が高まるから
5. 本人が居宅サービスの利用を望まないから
6. 生活不安が大きいから
7. 居住環境が不便だから
8. 本人が介護者の負担の軽減を望むから
9. 費用負担が重いから
10. 独居等で介護者がいないから
11. 介護者の介護に係る負担が増大しているから
12. 介護者が居宅サービスの利用を望まないから
13. 家族等の介護等技術では対応が困難であるから
14. 費用負担が重いから
15. 家族等の就労継続が困難になり始めたから
16. 本人と家族等の関係性に課題があるから
17. その他 []

問 14 在宅生活の維持が難しくなっている状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いませんか。(1つを選択)

1. より適切な「在宅サービス」に変更する (例：小多機など)
2. より適切な「住まい・施設等」に変更する (例：サ高住への入居、特養への入所など)
3. より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する
4. 上記 1～3 では改善は難しいと思う

介護サービスについてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問 15 下記のサービス（※予防給付も含む）について利用者のニーズに対し管内の提供体制で充足していると思いますか。※(1)～(29)それぞれに1つを選択

	1 いる 不足して	2 ない 過不足は	3 ある 過剰で
(1) 居宅介護支援	1	2	3
(2) 訪問介護	1	2	3
(3) 訪問入浴介護	1	2	3
(4) 訪問看護	1	2	3
(5) 訪問リハビリテーション	1	2	3
(6) 居宅療養管理指導	1	2	3
(7) 通所介護	1	2	3
(8) 通所リハビリテーション	1	2	3
(9) 短期入所生活介護	1	2	3
(10) 短期入所療養介護	1	2	3
(11) 特定施設入居者生活介護	1	2	3
(12) 福祉用具貸与	1	2	3
(13) 福祉用具販売	1	2	3
(14) 住宅改修	1	2	3
(15) 認知症対応型通所介護	1	2	3
(16) 小規模多機能型居宅介護	1	2	3
(17) 認知症対応型共同生活介護	1	2	3
(18) 地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	3
(19) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	2	3
(20) 地域密着型通所介護	1	2	3
(21) 看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3
(22) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3
(23) 夜間対応型訪問介護	1	2	3
(24) 介護老人福祉施設	1	2	3
(25) 介護老人保健施設	1	2	3
(26) 介護療養型医療施設	1	2	3
(27) 介護医療院	1	2	3
(28) 総合事業（訪問型サービス）	1	2	3
(29) 総合事業（通所型サービス）	1	2	3

問 16 看護小規模多機能型居宅介護サービスの整備についてどのようにお考えですか。
「2」「3」を選んだ場合は、問 15 のサービス番号（1～29）をご記入ください。
（1つを選択）

1. ニーズはあるので整備が必要
2. ニーズはあるが、現行サービスで補完できている
3. ニーズはあるが、現行サービスが充実すれば補完可能
4. ニーズはない



「現行サービス」の番号

問 17 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの整備についてどのようにお考えですか。「2」「3」を選んだ場合は、問 15 のサービス番号（1～29）をご記入ください。
（1つを選択）

1. ニーズはあるので整備が必要
2. ニーズはあるが、現行サービスで補完できている
3. ニーズはあるが、現行サービスが充実すれば補完可能
4. ニーズはない



「現行サービス」の番号

介護予防ケアマネジメントについてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問 18 要支援の方のケアプランを作成していますか。(1つを選択)

1. している 2. していない

問 19 介護予防・日常生活支援総合事業には、多様な主体によるサービスの1つとして住民主体型サービス(いわゆる「サービスB(訪問型・通所型)」)がありますが、このことはご存じですか。(1つを選択)

1. 知っている 2. 知らない

問 20 介護予防・日常生活支援総合事業の住民主体型サービスを利用することで、利用者が自立した生活を続けられる可能性はあると思いますか。(1つを選択)

1. あると思う 2. 今後のサービス次第ではあると思う 3. ないと思う → 問 21 へ進む

問 20 で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

問 20-② それは、具体的にどのようなサービスですか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| 1. 調理 | 8. 相談相手になること |
| 2. 掃除・洗濯 | 9. 災害時の避難の手助け |
| 3. 買い物(宅配は含まない) | 10. 防犯・防災のための巡回 |
| 4. ゴミ出し | 11. 住居内での困りごと支援
(家具移動や蛍光灯の取替など) |
| 5. 外出同行(通院、買い物など) | 12. その他〔 |
| 6. 見守り、声かけ | 〕 |
| 7. 話し相手になること | |

再びすべての方にお伺いします。

問 21 介護予防が必要な人に対し、介護予防・日常生活支援総合事業の利用を勧めていますか。(1つを選択)

1. 勧めている → 問 22 へ進む
2. 勧めていない
3. 介護予防が必要な人がいない → 問 22 へ進む

問 21 で「2」と回答した方にお伺いします。

問 21-② 勧めていない理由は何ですか。(複数選択可)

- | |
|------------------------|
| 1. 総合事業以外のサービスを使う必要がある |
| 2. 地域に事業所がない、少ない |
| 3. 利用者が利用したがない |
| 4. サービスの実情が分からず、勧めづらい |
| 5. サービスについて説明しづらい |
| 6. その他〔 |
| 〕 |

再びすべての方にお伺いします。

問 22 介護予防・日常生活支援総合事業におけるボランティアやNPOによる介護や生活支援サービスについて、どのように評価されていますか。(複数選択可)

- | | |
|---|------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. 介護サービスで行き届かない部分を補うことができている2. 利用者の軽い負担で、簡易な手助けをおこなうことができている3. 地域住民がかかわることにより、認知症やうつなどの予防効果につながっている4. あまり活用できていない5. その他〔 | } → 問 23
へ進む |
| 〕 → 問 23 へ進む | |

問 22 で「4」と回答した方にお伺いします。

問 22-② その理由は何ですか。(複数選択可)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 提供量が少ないから2. 柔軟な対応ができないから3. 地域による差がみられるから4. 質を担保できないから5. 継続的に提供されるか不透明だから6. 提供内容が分かりづらいから7. その他〔 | 〕 |
|--|---|

再びすべての方にお伺いします。

問 25 通常、医療機関やかかりつけ医とどのような方法で情報を交換していますか。
(複数選択可)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 電話 | 7. バイタルリンク |
| 2. ファックス | 8. サービス担当者会議 |
| 3. 電子メール | 9. 直接訪問 |
| 4. 診察への同行 | 10. 市の在宅医療連携窓口を利用 |
| 5. 訪問診療への同席 | 11. その他〔 |
| 6. 医療連携シート | 〕 |

問 26 認知症の方を地域で支えるため、「チームオレンジ鈴鹿」「チームかめやま」が編成されていますが、どのような取り組みを期待しますか。(複数選択可)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 地域における居場所づくり | 4. 一人歩きの人発見・救援 |
| 2. 生活のサポート | 5. 市民への普及啓発 |
| 3. ふだんの見守りや声かけ | 6. その他〔 |
| | 〕 |

総合相談、権利擁護などについてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問 27 高齢者だけでなく、障がい、子育て、生活困窮などさまざまな相談に対応する窓口についてどのように思いますか。(1つを選択)

1. さまざまな相談に対応できる窓口があったほうが良い
2. 高齢者に特化した窓口があったほうが良い
3. その他〔 〕
4. わからない

問 28 「8050 問題」やヤングケアラーなど、複雑で複合化した課題を持つ家庭等は、どのような支援を求めていると思いますか。(複数選択可)

1. 経済的な支援
2. 日常生活の支援
3. 就労先の確保
4. 地域における居場所
5. 地域の人との継続的な関わり
6. 専門職との継続的な関わり
7. 何を求めてよいか分からずにいる
8. その他〔 〕

問 29 身寄りのないひとり暮らしの方などを担当した際、次のような場面で対応に苦慮した経験はありますか。(複数選択可)

1. 入院が必要な場合の身元保証
2. 施設入所が必要な場合の身元保証
3. 判断能力の低下による消費者被害
4. 判断能力の低下による金銭管理
5. 判断能力の低下によって手続きができない
6. お亡くなりになった場合の事務手続き
7. その他〔 〕

問 30 成年後見をはじめとする権利擁護が必要な人を制度利用につなげるために、どのようなことが必要だと思いますか。(複数選択可)

1. 市民への広報活動
2. 必要な人への制度の周知
3. 相談できる機会の充実
4. アウトリーチによる専門職へのつなぎ
5. 制度利用するための手続き支援
6. 制度利用するための経済的支援
7. その他〔 〕

問 31 過去1年間（令和3年11月1日～令和4年10月31日）に虐待の疑われるケースにかかわったことがありますか。

「ある」に○をつけた方は、〔 〕内にその件数を記入してください。

1. ある〔 〕件 2. ない → 問32へ進む

問31で「1」と回答した方にお伺いします。

問31-② かかわった虐待の疑われるケースは、次の分類で何件ずつになりますか。あてはまる分類すべてに○をつけ、件数を記入してください。

1. 身体的虐待……〔 〕件	4. 経済的虐待……〔 〕件
2. ネグレクト……〔 〕件	5. 性的虐待……〔 〕件
3. 心理的虐待……〔 〕件	6. その他……〔 〕件
〔 〕	

問31-③ 虐待の疑われる事例にかかわったときに、どのような方法で対処しましたか。（複数選択可）

1. 所属する施設・事業所内で対処した
2. 地域包括支援センター、市役所、鈴鹿亀山地区広域連合など、他の施設・機関と連携して対処した
3. 地域包括支援センター、市役所、鈴鹿亀山地区広域連合など、他の施設・機関に対処してもらった
4. 警察に通報した
5. その他〔 〕

再びすべての方にお伺いします。

問32 過去1年間（令和3年11月1日～令和4年10月31日）にセルフネグレクトの疑われるケースにかかわったことがありますか。

「ある」に○をつけた方は、〔 〕内にその件数を記入してください。

1. ある〔 〕件 2. ない

地域包括ケアについてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問 33 地域包括支援センターの機能のうち、充実を望むものはどれですか。(複数選択可)

1. 要介護となる恐れのある高齢者を早期発見し、介護予防を行う
2. 高齢者虐待の相談、対応
3. 成年後見制度の利用支援
4. 介護のことや介護保険利用等の総合相談窓口
5. 要支援の認定を受けた人、基本チェックリスト該当者の介護予防ケアマネジメントの実施
6. 生活機能の低下がみられた方（要介護認定の非該当者、基本チェックリスト該当者等）に向けたプログラム（介護予防教室等）の実施・紹介
7. 高齢者を支援するための地域の見守りネットワークづくり
8. 高齢者が抱える問題に対し、解決に向けた関係機関のネットワークづくり
9. ケアマネジャーへの支援や指導
10. その他〔 〕

問 34 鈴鹿亀山地区においては「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けて、さまざまな取組を進めていますが、どのような点で取組が進んでいると思いますか。(複数選択可)

1. 地域ケア会議の推進
2. 総合相談と情報提供の充実
3. 介護予防の推進と生活支援サービスの充実
4. 在宅療養生活の支援
5. 認知症施策の推進
6. 高齢者の尊厳の保持
7. 家族介護者への支援
8. 安定した居住環境の確保
9. サービス提供基盤の整備
10. 災害や感染症への備えの充実
11. 介護保険事業の健全運営
12. その他〔 〕

問 35 住まいに関して、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯はどんな問題を抱えていると思いますか。(複数選択可)

1. 借家の経済的負担
2. 水道光熱費等の経済的負担
3. 住まいの維持修繕ができない
4. 住まいの清掃ができない
5. 住まいがバリアフリーになっていない
6. プライバシーが保たれていない
7. その他〔 〕

問 36 家族の介護を理由とする離職者を減らすには、どんなことが必要だと思いますか。(複数選択可)

1. 職場の理解や就労環境の向上
2. 介護サービスの周知
3. 相談窓口の充実
4. 介護サービスの充実
5. 柔軟なサービス提供
6. 介護施設の整備
7. 介護保険外サービスの充実
8. 費用負担の軽減
9. その他〔 〕

問 37 利用者のご家族の中で、サービスを利用しているにも関わらず介護負担が軽減されていないと思われる人はいますか。(1つを選択)

- 1. いる
- 2. いない
- 3. わからない

設問は以上で終了です。
ご意見等がある場合は、下記の記述欄をお願いします。

問 37 で「1」と回答した方にお伺いします。

問 37-② 介護負担が軽減されていないのは、主にどんなことが原因だと思いますか。
(複数選択可)

- 1. サービスが十分利用されていない
- 2. サービスが合っていない
- 3. 利用限度額に至っている
- 4. 休日・夜間などの介護が負担になっている
- 5. 認知症の対応が負担になっている
- 6. 介護者の性格のため(心配性、内向的など)
- 7. その他〔

【ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください】

ご協力ありがとうございました。
返信用封筒に入れてご返送ください。

なお、令和4年12月中旬以降に要支援・要介護者向け(在宅介護実態調査)、及び要支援者・非該当者向け(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)といったアンケートを実施いたします。

介護支援専門員の皆さまにおかれましては、その旨、ご承知置きいただきますとともに、可能な範囲でご担当の利用者の方へのご協力をお願いいたします。